

## 【熊本 SJCD 例会 抄録】

### 演題：前歯部審美障害に対してボンディッド・レストレーションによって対応した症例

演者名 関 喜英  
日付 2015年8月25日

keyword 1. ボンディッド レストレーション  
2. 診断用ワックスアップ  
3. モックアップ

前歯部の審美性に不満を持っている患者への処置方針は、その原因や状態、そして患者自身の審美的な要求と治療に対する様々な希望などにより決定される。臨床的には、補綴的な対応、矯正的な対応、そしてその両者を組み合わせた対応、さらに外科的な対応も必要となる複雑なケースもある。いずれの場合も、出来るだけシンプルで侵襲が少なく、かつ効果的で、予後も良い治療結果を目指さなければならない。そのためにはまず、患者の審美的な要求を明らかにした上で、診査・診断、診断用ワックスアップ、モックアップという流れの中で、患者とコミュニケーションを重ねながら患者の審美的要求や機能を確認していき、最終補綴物に移行するようにしなければならない。

今回発表するのは患者の審美的要求に対し、コンポジットレジン、ラミネートベニア、オールセラミッククラウンで対応した2症例である。一症例目はカリエスがある軽度の捻転歯の症例、二症例目は現在治療が進行途中であるが、上下の前歯部に歯間離開のある症例である。

諸先生の忌憚のないご意見を頂き、今後の臨床に生かしていきたい。